

2024年度第1回 理事会 議事録

開催日 : 2024年6月15日(土) 10時~11時

開催場所 : zoomによるオンライン形式

出席者 : 石田直章、徳永大作、井岡雅子、遠藤華英 / 欠席 : 柿崎裕彦(委任状提出)

以上、理事5名のうち4名が出席で理事会成立

オブザーバー : 中元洋子監査、吉田進強化委員長、吉田寿子ヘッドコーチ、中村晃子顧問税理士、岡本孝義地域育成委員会 委員長、事務局より2名(佐藤勇介、吉田彫子)、中元伊知郎(正会員)

議長 : 石田直章 / 議事録署名人 : 井岡雅子、遠藤華英

石田理事長から理事会開会挨拶。

1、決算報告(中村晃子税理士より)

- ・貸借対照表 : 未収入金が一番金額が大きいが、助成金の清算払いの未入金分。
- ・損益計算書 : 613万円の赤字。昨年よりも-630万円。一番の原因は受け取り助成金額が1300万円減少したことによる。ほかの収入で賄うことができなかった。
- ・販管費 : 全体として前年度比-980万円。内訳で大きく前年度と変わるものは2つ。
 - 外注費(+270万円) = 競技会の企画運営にかかる外部への委託金が増えている
 - 旅費交通費(-770万円) = 競技力向上に関わる部分(選手強化活動)

●質疑応答(井岡理事より) :

質問1) 受け取り助成金が減少したのは次世代ターゲットが取れなかったことによることで間違いないか?

回答1) その通り。交通費の減、収入減はすべて次世代ターゲットプロジェクトの助成金が取れず実施できなかったことによる。国際大会は他の年度よりも少なく2つのみだったことにもよる。

質問2) 外注費がアップした理由は?

回答2) 大会演出のための外注費が大きかった

質問3) コスト削減に成功した理由を聞きたい

回答3) 旅費交通費の減少、税理士・弁護士への支払報酬の値下げによるところが大きい

質疑応答後、2023年度決算が承認された

2、監査報告(中元洋子監査より)

適正に処理されていることが報告された。

3、2024年度予算（吉田寿子ヘッドコーチより）

・2024年度予算：TOTO助成金で、1プロジェクト（国際レベル育成プロジェクト）を実施することの報告。J-starは実施内容未定。2事業合わせて昨年度比-1500万円の予算規模となることの報告。

●質疑応答（井岡理事より）：

質問1）助成金が年々減っているのは、他団体も同じ状況か？

回答1）どの団体も同じような状況だが、JPPFは強化費の減少度合いは少ない方である。

質問2）他団体と比べて減少度合いが少ないのに理由はあるか？

回答2）強化方針や、若手の成長率（強化の成果）など、活動内容を報告し知っていただく努力をしている。

質疑応答後、2024年度予算が承認された

4、2024年度事業計画（吉田寿子ヘッドコーチより）

・京都合同強化練習会が前年度と比べて増えている。

→ 立地（通いにくさ）から練習に通う選手にとって痛い交通費問題があるが、強化行事に組み込むことで交通費の補助ができるよう、京都合同強化練習会を増やした。

→ 京都の強化拠点をより活用していくため、動作解析、筋硬度計、ジムウェア、超音波治療機器と、設備の導入と充実を図っている。

→ 練習環境の改善に京都府様にご尽力いただき、京都トレセンからのスタッフ派遣が実現し、今年度よりサポート体制が充実する。

・徳永理事より

動作解析／学術発表を通して、NTCとしての存在意義を中央に積極的に発信する

5、強化報告（吉田進強化委員長、吉田寿子ヘッドコーチより）

・強化プロジェクト（国際レベル育成プロジェクト／JPC新人プロジェクト）の説明

・2024年度FTEM図の説明

・コーチシステムの説明（吉田進＝強化委員長、吉田寿子＝ヘッドコーチ）

・パリパラリンピック最終予選であるトビリシワールドカップ、日本代表メンバーの報告

4、事務局報告

（吉田彫子より）

・新スタッフ紹介（パラサポ助成金で普及活動を主に担当する佐藤勇介が加わった報告）

・前年度借入金の完済報告

・イベント報告

筋肉の要素から何を伝えるか、を明確にして取り組むことを進めていること、最近多いのは小学校での交流授業であることなどが報告された。

・セールス

→ セールスシートの共有。現在の壁として、確度の高い提案ができる相手とどうやって知り合うかで、手段がなく困っていることの報告。

→ アタックしたい企業リストの共有。紹介いただける企業の方がいたら紹介いただきたい、と報告・相談。

(佐藤勇介より)

・自己紹介

・2026 アジパラの担当者であることの紹介と今後の予定の報告

(地域組織育成委員会 岡本孝義 委員長より)

岡山・兵庫の2か所で地域連盟設立の条件がそろったことの報告
県連盟の設立承認願いが出された。

2県での地域連盟設立について承認された。

以上、審議事項が終了したので、議長より閉会が宣言された。

書記；吉田彫子

議長

石田直章



議事録署名人

井岡雅子



議事録署名人

遠藤華英

